

戦後 81年平和事業

長崎 家族証言講話・

映画上映会

「遠い日」～被爆者として 夫として 父として～

家族証言者である近江義則さんに、生前の父の証言から受け継いだ被爆体験や平和への思いをお話しいたします。

日時:7月18日(土) 13:30～15:30

場所:豊科公民館ホール

(※入場料無料・事前申込不要)

～プログラム～

講話 13:30～14:20

父は被爆当時18歳。8月9日は爆心地から約10kmで防空壕掘りをしていた。原爆投下後、爆心地から約500mにあった実家に急いで向かった。やっとの思いでたどりついた家は瓦礫の山だった。瓦礫から這い出てきた祖父に会うことができたが、祖父は容態が急変し8月18日に亡くなった。たった一発の原子爆弾で父の弟を除く全ての肉親を失ってしまった。戦後の父の半生も原爆に翻弄されるものだったが、父は懸命に生きることを身をもって教えてくれた。

映画上映 14:30～15:30

- ① ナガサキの少年少女たち: 被爆直後の実写フィルムや被爆者の証言等をもとに制作した記録映像
- ② ながさきの子うま: 原爆で奪われたたくさんの命の中には動物もいます。子うまを主人公にしたアニメーション

～家族証言者プロフィール～



家族証言者: 近江義則 (おうみ よしのり) さん
被爆者である父 近江時義さんの長男。

1959 (昭和34) 年生まれ。

2021 (令和3) 年より長崎市の「家族証言者」として県内外に出向き被爆体験伝承活動 (家族証言者講話) に携わっている。今回は、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の派遣事業により派遣。



平和祈念像 北村西望 作

問い合わせ 安曇野市役所 総務課 電話 0263-71-2408